市辺地区まちづくり協議会広報誌

万葉のまち 市辺

いちのべ

第37号
平成２８年１０月

東市辺三所神社　秋の神事式では「相撲神事」が行われ
収穫の感謝、無病息災や五穀豊壌などを祈ります。

発行：市辺地区まちづくり協議会 ／ 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 0505-802-3392
ホームページ　万葉のまち市辺　http://www.ichinobe.com/

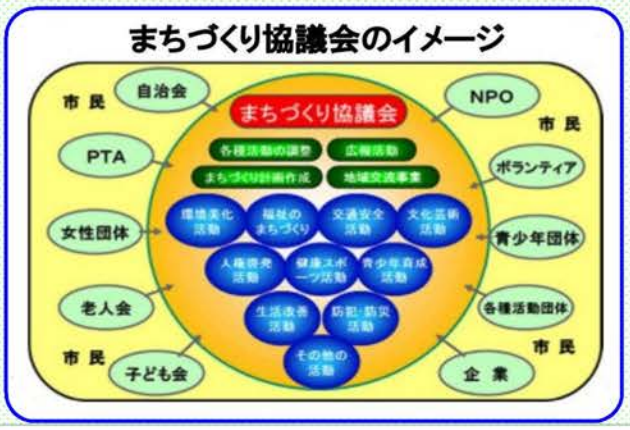
万葉のまち市辺　検索

東近江市内まちづくり協議会交流会

９月３日(土)に八日市商工会議所大ホールで地域担当職員も加わり総勢１２０名が集まり開催されました。市辺地区からは第１部の研修会に２名、第２部の懇談会に３名参加しました。

市辺地区地域担当職員は４名全員が１部・２部共に参加されました。第１部の研修会は北川秀人氏ＩＩＨＯＥ「人と組織と地球のための国際研究所」代表が「自治を回復し、まち・むらの課題をまち・むらの力で解決するために～総働と小規模多機能自治のすすめ～」と題し講演がありました。

第２部の懇談会では食事をしながら地域担当職員との交流や各地区の活動報告など楽しく賑やかなひとときを過ごすことができました。



「減災のまち」いちのべを目指して

まちづくり委員会　榎木貞夫

去る４月、熊本県で予想もしない規模の地震が発生し、甚大な被害が出ました。私達の住む滋賀県には複数の活断層が存在し、且つ、南海トラフ地震も何時発生してもおかしくない状況と言われています。

このような自然災害は防ぐことは出来ませんが、被害を少なくすることは出来るのではないでしょうか。この観点から、私達は減災のまちづくりに取組む事としました。

災害が起こってから慌てるのではなく、常に災害に備えておくことが重要です。まず、自分の命は自分で守るという「自助」、地域での守り合いを進める「共助」を、災害が起こる前にしっかり構築しておくことを皆さんとともに進めていきたいと思います。

「市辺地区まちづくり計画書」改定へ

見直し検討会議発足

平成２１年１月から「市辺地区まちづくり計画プロジェクトチーム」により計画策定作業が進められ、平成２２年３月に完成。市行政への提出、承認を得て、地区住民のみなさんへ概要版の配布を行いました。それから６年を経て、計画に沿って活動を行っているもの、未だ手つかずのもの等、又現在では合わないものなどを見直します。５年先以上を見据えて改訂作業を７月中旬より月１回開催し来年３月末には、改定版の完成を目指しています。尚、会議メンバーは役員、まちづくり委員、行政から地域担当職員を含めて１８名の方々で進められています。

地域担当職員制度がスタート!!

～「共に考え、共に創る」未来につなげる　まちづくり～

平成２８年度から導入される「地域担当職員制度」とは、どのような制度でしょうか?

○地域担当職員とは

地域と行政の相互の情報伝達役(パイプ役)・地域内の活動団体のつなぎ役(コーディネーター役)として、地域のまちづくりについて共に考え支援を行う職員のことです。

○目的と基本方針

各地区に地域担当職員を配置することで、地域自治の充実と協働のまちづくりを進めます。

①地域課題への庁内横断的な取組の推進
～従来の枠を超えて対応します～

②地域の特性を活かした市政の推進
～地区へのサポートを強化します～

③現場主義の人材育成
～市民目線で仕事する人材を育成します～

○体制

市職員を各地区まちづくり協議会に地域担当職員として３名以上配置します。尚、地域担当職員は原則、時間外に出動します。

《市辺地区地域担当職員の紹介》

福嶋　勝宏	(住宅課)	糠塚
苗村　清久	(管理課)	布施
森　佳子	(職員課)	西市辺
奥野　浩史	(教育総務課)	建部

以上４名の皆さんが、７月より「まちづくり計画見直しプロジェクト」等に参画されています。

第４回「蒲生野万葉短歌会」入選者が決定

第４回「蒲生野万葉短歌会」入選者が決定されました。

一般の部は全国１４都道府県から１０３首、小中学校の部は１７校１，５２９首の応募がありました。表彰式は、１０月３０日(日)開催の「いちのべ万葉フェスタ」会場(船岡中学校)のステージで行われます。

なお、佳作入選者は一般の部６名、中学校の部３名、小学校の部３名の方々がおられます。（敬称省略）

〈一般の部〉

蒲生野大賞	寒川　靖子	香川県丸亀市
紫野賞	大野　恵子	滋賀県東近江市
標野賞	中村　重男	滋賀県東近江市

〈中学校の部〉

優秀賞	澤田　佳奈	滋賀学園中学校
いちのん賞	山本　大翔	愛東中学校
いちのべー賞	川副　一樹	愛東中学校

〈小学校の部〉

優秀賞	新永　寧央	能登川南小学校
いちのん賞	大橋こころ	能登川南小学校
いちのべー賞	木澤　咲耶	湖東第一小学校

新企画　このまち「この人」

バレーボールチーム「ＳＨＩＰＳ」

今回の紹介は、スポーツの秋にふさわしい市辺地域のママさんバレーボールチーム「ＳＨＩＰＳ」です。このチームが結成されたのは今から７年前、現在は１７人の方が参加しておられます。

船岡中学校体育館に元気な声が響き練習が始まるのは、毎週火曜日の午後８時です。仕事や家事で忙しい中で欠かさない練習に敬服し「そのエネルギーは？」との質問に、即座に「バレーが好きだから！」と。

ところで、このチームの活躍ぶりを紹介すると５回のブロック（彦根・東近江）優勝と輝かしい。

取材の夜も練習試合で金田パープル（近江八幡）チームが来られました。

リーダーの深尾薫さんは「将来の目標は全国大会に出場すること」とは明るく語ってくださいました。

「市辺れきし発見塾」
布施山城の構造について

講師　中井　均　氏（滋賀県立大学）

市辺地区まちづくり協議会歴史文化部では、「市辺れきし発見塾」講演会を９月２４日に行ないました。

テーマは「布施山城の構造について」で中井均先生（滋賀県立大学教授）に講演いただきました。

全国には３～４万の山城があり、１３３０年から１００年の間に作られました。滋賀県には１，３００の城跡がありますが、畝状空堀群（山の斜面に大きな溝を何本も掘り、敵が横に移動するのを防ぐ、人工的防御施設）があるのは滋賀県では珍しく、５例しかありません。布施山城にも立派な畝状空堀群があり最大の特徴です。

城跡は親しまれやすい遺跡であり各地で保存や整備が盛んにされ、まちづくりの核になっています。城跡の整備は行政だけに頼るのではなく、郷土の誇りとして民力で樹木の伐採とか城道の整備を行って欲しいとのことでした。

近江は「城の国」でもあり、今は山城を訪ねる人も多いとのこと。それも、高齢の方だけでなく、若い女性も来られるとのこと。まちづくりや観光のヒントにもなり、おもしろい話が聞けました。

まちづくり協議会正副部長会議開催

万葉フェスタの成功を！

９月２７日（火）コミュニティセンターにおいて、正副部長会議が開催され、第１議題の万葉フェスタについて進行・設営などフェスタの成功に向けて協議されました。なお、子ども健全育成部の「交通安全啓発」や健康福祉部の「天然酵母パンと喫茶」など各部の取組みについて協力体制なども確認されました。

第２議題の各部事業については、各部長から今年度事業の前半の取組の報告と、後半の計画等について具体的な説明がされました。（「各部だより」参照）

減災のまちづくりで安心して暮らせる街づくりを！

最後に、榎木副会長から、取組が始められている「減災のまちづくり」について、経過の報告と今後の進め方が説明されました。現在、各町の担当者が決められ、将来構想などについての議論が開始される予定です。

部会だより

安全安心部

安全安心部は夏期の防犯パトロールに参加させていただきました。年末の防犯パトロールにも参加を予定しています。また、昨年に引き続き市辺地区の防災マップの作成に取り組んでいきます。

防災マップは本年度中に完成を考えています。さらに普通救命（ＡＥＤ）講習会を来年２月に開催したいと考えており、多くの方々のご参加を期待しています。最後になりますが、市辺地区として「減災のまちづくりプロジェクト」がスタートする予定となっており、安全安心部も参画していこうと考えています

健康福祉部

「お子さん、お孫さんに身体が喜ぶパンを作ろう♪」と呼びかけ８月２１日（日）市辺コミセンで、〝天然酵母パン作り〟を行いました。大人１３名子ども５名の参加者で、大人と子どものふれあいパン作りとなりました。今回で３回目ですがプチプチと温風機で即席の発酵器を作ったのと暑さも手伝ってか整形した生地の二次発酵がよく膨らみ、りっぱなパンが出来上がりました。「私は食パンが好き」「私は蒸しパンが好き」と思い思いに食べて楽しんで、大成功のパン作りとなりました。

１０月３０日（日）万葉フェスタには、この安心安全パンを販売します。１１月２０日（日）予定の「マクロビオテックで健康！」をテーマにおもてなし一品に、ごま豆腐作りを中心に料理教室を行います。ご参加をお待ちしています。

地域活力部

５月２１日（土）９時より希望者にムラサキ苗の配布作業実施し、同日１０時よりまちづくり協議会会員有志により船岡山公園にムラサキの苗を約１８０株植えました。苗の配布数は当日から３週間で３５株になりました。

６月２６日（日）船岡山公園の美化作業を会員７名のご協力により実施しました。この時点では約半数が成育して白い花をさかせましたが、その後徐々に枯れ８月上旬に全滅しました。目標の１１月まで生育させる方策が今後の研究課題です。

歴史文化部

「歴史文化部今後の計画」

歴史文化部では今後の事業計画として、奈良県立万葉文化館の見学会を１１月９日に実施します。

市辺地区の船岡山公園にある、額田王と大海人皇子のレリーフの原画を期間限定で、奈良県立万葉文化館に特別展示されます。そのことを機会に行政バスを借りてコミュニティセンターと共同主催で見学会をします。

万葉文化館の見学がメインですが、せっかくなのでもう１ヵ所ぐらいと思っていたところ、ニュースで飛鳥歴史公園のキトラ古墳地区の「四神の館」がオープンしたとのことなので、見学場所として検討しています。

それと、昼食は飛鳥らしさが感じられるところをと考えています。

バスは小型ですので、参加人数は２０名です。申込受付先着順で締め切りますので早目に申し込んでください。

いま「市辺れきし発見」のビデオ作品「布施のため池ものがたり」を製作中です。完成すれば各自治会へ１～２枚配布します。なお時期は未定ですが「お披露目会」を計画しています。

自然環境部

「楽しみながら学ぶ環境」

５月末、植え付けたさつまいもの苗、雨不足でしたが、熱心な水やりでうまく根付きました。その後、晴天と強風で、マルチが何度もはずれ、掛けなおしました。雨はなかなか降らず今度はいもの成長が心配です。８月末の部会時、一株そっと掘ってみるとまるで小指。子ども達が来てくれる頃こんなだったらどうしょう、楽しみながら環境を学んでもらうチャンスなのに、どうぞ雨が降りますように。9月に入り雨の日も多くなり、もう大丈夫です。１０月１日は小学生、１９日は保育園児、収穫祭。月末には幼稚園児に楽しんでいもほりをし環境を学んでもらいます。収穫祭には、皆さんもまちづくり農園へ。

子ども健全育成部

今年度は、親子、自転車安全教室を開催します。その時、警察の音楽隊の方々も２０数名で来て下さいます。日程は３０日、船中で催されます。万葉フェスタとドッキングする事になりました。地域教育協議会の方、まち協安全安心部の皆様方のご協力のもと、盛り上げていきたいと思います。当日は、パトカーも白バイも来て頂きます。実際に乗ってみたり、写真を撮ったり、解らない事は質問したりして、楽しんでください。又自転車安全教室は、中学生の皆さん、小学生親子の皆さん、各地域の見守り隊の皆さんも、正しい自転車の乗り方を教わり、楽しく安全に自転車に乗って活動し成長して頂けます様にと願っています。

編集後記

今年も敬老の日が過ぎました。少子高齢化時代と言われ、既に人口減期を迎える日本。我々の市辺地区の状況を見てみよう。人口４，２７８人、高齢化率２８．３％。県全体２４．７％、東近江市２３．９％、いづれと比較しても市辺地区は高い数値を示しています。先日、５年後の平成３３年はどうなるかを推計したデータが出ましたので紹介します。人口３，９２０人、高齢化率３３．７％、人口の減少、超高齢化が進行することになります。裏返せば、年少人口の減少、生産人口の減少と言うことです。より一層、元気、活気のあるまちづくり施策が求められそうです。（Ｈ・Ｉ）